

令和8年度 高山市立丹生川中学校 学校経営の重点及び自己評価 校長 岡崎 夕佳

方針と重点		基本市の施策	学校の教育目標	資質・能力 育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点		
方針・重点 ・持続可能な社会の創造 ・キャリア教育・ICT教育・プレゼン教育 ・郷土教育・未来社会を創り出す資質・能力の育成	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④DXをとれた教育の推進 ③学校・地域・関係団体との協働による郷土教育の推進 ②子どもの自己実現を支える教育の推進 ①豊かな心、健やかな体、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	自ら・共に	主体的に考え行動する力・つながり認め合い支え合う力	学ぶ楽しさや喜びが味わい「できた・分かった」と実感できる授業	①「自ら」を育てる教科指導の充実	・「やってみたい」を生み出す指導計画。「何ができたか」課題の明確化(職員評価100%) ・意図的な対話・議論の場の工夫 ※表出させる場の工夫					
				①④	「共に」を育てる学習指導の充実	・生徒が自ら追求方法を選択できる準備と工夫(職員評価90%) ・学びの振り返り、変容の自覚ができる場の設定(職員評価80%)					
				①②	一人一人の生徒を大切にする安心・安全な校風づくり	・「学習内容がよくわかる」生徒評価85% ・「授業が楽しい」生徒評価85% ・「安心して学ぶことができる」生徒評価85% ・「安心して学ぶ場所がある」生徒評価85%					
							②	「なりたい自分」の実現を通して、心を育てる指導の充実	・「なりたい自分」の実現に向け、何度でも挑戦できるよう支援し、見届ける。(三者懇談でプレゼン発表の場を設定) ★生徒アンケート数値目標「なりたい自分に向けて努力できる」(生徒評価95～100%)		
					②	安心して自分を出せるよりよい仲間関係の育成	・いじめ、不登校の未然防止と対応、教育相談、特別支援教育の組織対応(定期的に生徒アンケートを実施⇒即時対応) ★生徒アンケート数値目標「学校が楽しい」(生徒評価95～100%)				
					②③	本質に迫る職員集団(子どもたちに考えさせる)	・「それで本当にいいのか?」「あなたはと思う?」と迫る ★生徒アンケート数値目標「仲間に指摘することができる、仲間の指摘を受け入れられる」(生徒評価70%?)				
							①③	郷土学習「にゅうかわ学」の充実	・生徒の主体性を引き出す工夫、改善 ・発信活動として魅力CM・提言プレゼンを作成の推進 ★学校評価アンケート数値目標「ふるさと丹生川を愛し、自慢できる丹生川」(生徒90% 保護者90%)		
							②③	関係諸機関、関係団体との効果的な連携・推進	・「学校運営協議会」「すくなく子会議」との連携や活動が充実している。地域行事やボランティア活動等、生徒が企画から参画し体験の充実を図る。 ★学校評価アンケート数値目標「地域の役に立ちたい」(生徒85%)		
							③	小中連携	・管理職会議、担当者会議、合同全校研を行い、具体的指導の共有と実践 ・小中合同でPTAリサイクルボックス設置の実施 ・PTA組織のあり方の見通し(いずれ小中合同PTAへ)		
								職場環境	⑤ 働きがいのある職場づくり	・危機管理マニュアルの充実(命を守る訓練の充実) ・時間外勤務月45時間を超えない工夫、改善 ・勤務時間短縮職員が勤務しやすい職場環境をつくる。	
学校運営協議会における主な評価内容											